

# エコーを用いた嚥下スクリーニング法に関する研究

の つ み か こ  
看護学科 (老年看護学) 野津 美香子

● 連絡先 TEL : 054-202-2946  
E-Mail : notsu.m@u-shizuoka-ken.ac.jp

## キーワード

エコー、嚥下、スクリーニング



誤嚥性肺炎は死因順位第 6 位であり高齢化に伴い今後も患者の増加が予想されます。このため、誤嚥を防ぐために早い段階での嚥下機能を正確に評価するスクリーニング方法の開発は喫緊の課題であると考えます。嚥下評価は、特別な器具を必要とせずベッドサイドで評価をするスクリーニングと嚥下の様子を X 線や内視鏡を用いた画像を基に診断する方法がありますが、前者は、画像を用いないため客観性に乏しく、後者は検査場所の制限や痛みや被爆といった侵襲を伴い、医師の指示が必要な検査です。

エコーは看護師を含む様々な職種で使用可能な画像診断装置であり、非侵襲的かつ簡便に画像を得ることが可能です。またモードを併用する事により嚥下時の組織や食物の動きや速度等を観察でき数値化し評価する事ができます。

さらにエコーは、小型化が進み今や携帯可能となり、病院に限らず高齢者施設や在宅での活用が期待されます。エコーを用いた新たな嚥下スクリーニング法の確立は、高齢者の誤嚥性肺炎の予防や減少につながると考えます。

エコーを用いて嚥下時の頸部や食物の動きを定量的に評価することで新たな嚥下スクリーニング法の基盤を構築したいと考えています。

## アピールポイント

高齢者の嚥下機能評価に基づく実践的なスクリーニング法の確立を目指しています。